

日時	令和8年9月8日（火） 13：30～15：00
場所	美馬市農村環境改善センター 1階会議室1
司会・進行	障害者支援センターかしがおか：宮内 慶門
会議録作成者	障害者支援センター小星園：三笠 ひと美
添付書類	相談支援状況報告、各部会報告 等
はじめに、司会者から今回の定例会議は、新しい試みとしてグループワークを取り入れ いろいろな 立場から広く意見を出し合い、地域課題を考える場にしたい旨の説明をする。 1. 開会・あいさつ 美馬市役所長寿・障がい福祉課 宇山 俊介課長 2. 議事 (1) 相談支援事業実施状況・相談状況について報告（定例支援会議提出書類参照） ・ 障害者支援センター かしがおか：喜田相談支援専門員 ・ 地域活動支援センター まいか：福島相談支援専門員 ・ 相談支援センター イノセント：田岡主任相談支援専門員 ・ 障がい者就業・生活支援センター はくあい：川原主任職場定着支援担当者 ・ 障害者支援センター 小星園：吉永相談支援専門員 (2) グループワーク (1) の報告、吉永相談支援専門員の事例から、経済的に困窮する方への支援につ いて、4 グループに分かれ話し合い、グループごとに発表してもらった。 ・ エアコンは生活必需品と思う。 ・ 申請し結果まで時間がかかるため、エアコンは早めに稼働の確認をした方がいい。 ・ GHでエアコンが壊れた人は、共有スペースで過ごしている。 ・ 感覚的にエアコンを使用しない人もいる。それで救急搬送になるケースもある。 ・ 東京では生活困窮貸付できる。危ない事例を声をあげる。 ・ 社会福祉協議会の慈善銀行で米や缶詰などもらえる。 ・ 日常生活は、生活が厳しい方に暮らしサポートがアドバイスしてくれる。 ・ 児童は、生活の面において困ることは少なく、児相が関わる。 ・ 支援学校卒業生同士の結婚は、早目に関わる。 ・ 暑さ対策でクーリングシェルターは、昼間は活用できるが、夜間は難しい。 ・ 事業所向けのエアコンをつける補助金制度はあるが、生活面でエアコンはいる。 ・ 町営住宅は、低家賃で暮らせるようにエアコンや風呂など設置されていない。 ・ 壊れた時のことも考えて、金銭のアドバイスがいる。 ・ 生活困窮者のお金の使い道で、住環境にお金を使わない。（価値観の違い） ・ 支援者が困った状況と判断し支援をしても、本人は困ったと感じてない。	

(3) 各部会報告（詳細は各専門部会報告書参照）

1) 精神障がい者支援部会（地域活動支援センターまいか：福島氏）

- ・【講演会】精神部会の取り組みについて

* 次回開催：令和8年10月27日（火）13：00～

2) 西部就労支援部会（障がい者就業・生活支援センターはくあい：川原氏）

- ・開拓事業所、就職・実習報告
- ・情報交換

* 次回開催：子ども部会と合同開催予定

3) 相談支援部会（障害者支援センターかしがおか：喜田）

- ・サービス等利用計画、児童利用計画の見直し

* 次回開催：令和8年10月13日（火）13：30～

4) こども部会（相談支援センターイノセント：三宅氏）

- ・【研修会】発達障がいのあるこどもの子育てについて
- ・情報共有

* 次回開催：令和8年11月。就労部会とのコラボで開催予定。

* 次回定例支援会議開催：令和8年11月10日火曜日 場所：つるぎ町